

# 減災のための目標・重点取組事項

---

# 減災のための目標

静岡県東部地域大規模氾濫減災協議会構成員が連携して達成すべき減災目標は以下の通りとする。

## ■達成すべき目標

東部地域の豪雨災害に対し、地形・社会特性を踏まえ、「住民の防災意識の向上」、「逃げ遅れによる人的被害をなくすこと」、「氾濫発生後の社会機能の早期回復」を目指す。

## ■目標達成に向けた主な取組(3本柱)

上記目標達成に向けて、東部地域における主な取り組みは以下の通りとする。

- (1) 地域住民の防災意識を向上させるための防災教育推進の取組
- (2) 地域住民の確実な避難のための取組
- (3) 洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動・復旧活動等の取組

## 【参考】

項目	狩野川水防災協議会(国)	東部地域豪雨災害減災協議会(県)
5年間で達成すべき目標	狩野川台風規模の洪水に対し、水害の記憶を伝承することにより <ul style="list-style-type: none"><li>● 住民の防災意識の向上</li><li>● 避難行動の確実化</li><li>● 社会経済被害の最小化を目指す。</li></ul>	東部地域の豪雨災害に対し、地形・社会特性を踏まえ、「逃げ遅れによる人的被害をなくすこと」、「氾濫発生後の社会機能の早期回復」を目指す。
目標達成に向けた主な取組	<ol style="list-style-type: none"><li>① 狩野川台風による水害の記憶を未来へ伝承するとともに、地域住民の防災意識を向上させるための防災教育推進の取り組み</li><li>② 避難行動の確実化に向けた迅速かつ的確な情報提供を行うための取組</li><li>③ 洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組</li></ol>	<ol style="list-style-type: none"><li>① 水害リスク情報等の共有による確実な避難の確保のための取組</li><li>② 洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動・復旧活動等の取組</li></ol>

# 目標達成に向けた重点取組事項と主な取組

## (1) 地域住民の防災意識を向上させるための防災教育推進の取組

### ① 防災教育の促進

- ・【国・静岡県】R1年度の防災教育の取組
- ・【伊豆市・国】砂防に関する防災教育の実施(狩野川直轄砂防60年記念事業)

## (2) 地域住民の確実な避難のための取組

### ② 洪水時における情報提供の充実

- ・【国】「堤防決壊時の緊急対策シミュレーション」を開催
- ・【国】地元ケーブルテレビ会社と映像の相互利用可能とする協定の締結式

### ③ 広域避難体制の構築

### ④ 要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の促進

- ・【三島市・国】要配慮者利用施設を対象とした避難訓練の説明会、一斉訓練を実施

# 目標達成に向けた重点取組事項と主な取組

(3) 洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動・復旧活動等の取組

⑤ 水防団(消防団)の組織強化

- ・【静岡県・国】R1年度静岡県東部地域水防演習

⑥ 水防活動の充実

- ・【国】狩野川の重要水防箇所を巡視
- ・【国】災害対策車両合同操作訓練の実施
- ・【静岡県・国】危機管理型水位計の設置

⑦ 治水施設整備の促進

- ・【静岡県・国】R1年度竣工の工事事例※工務随意契約絡め

# (1) 地域住民の防災意識を向上させるための防災教育推進の取組

## ① 防災教育の促進

➤ 狩野川沿川小学校の授業で「防災・河川環境教育」ができるよう、教材等を教師、教育委員会、自治体の防災部局、气象台、国土交通省が共同で作成し、狩野川流域における「防災・河川環境教育」を支援。  
 ※令和元年度は新たに4校追加。令和2年度は新たに2校を予定

### 【事例】 狩野川流域での防災・河川環境教育の支援

#### 防災・河川環境教育 実施校一覧

- 計15校において実施（令和2年度は2校の新規実践協力校を予定）
- <平成28年 モデル校>
- 沼津市立第三小学校
  - 伊豆の国市立長岡南小学校
  - 伊豆市熊坂小学校
- <平成29年 モデル校>
- 三島市立長伏小学校
  - 函南町立西小学校
  - 清水町立南小学校
  - 長泉町立南小学校
- <平成30年 実践協力校>
- 沼津市立大平小学校
  - 伊豆市立天城小学校
  - 伊豆の国市立葎山小学校
  - 伊豆の国市立長岡北小学校
- <平成31年/令和元年 実践協力校>
- 沼津市立第四小学校
  - 伊豆の国市立葎山南小学校
  - 函南町立丹那小学校
  - 清水町立清水小学校
- <令和2年 実践協力校（予定）>
- 伊豆の国市立大仁北小学校
  - 清水町立西小学校

#### モデル校および実践協力校の位置



#### 教師用指導計画（発問計画・板書例等）の作成



#### 授業用教材の作成（例）



学校中心のハザードマップ、水深を体感できる等身大模型、地域の災害映像や黄瀬川水位上昇の映像等のビデオ教材

# (1)地域住民の防災意識を向上させるための防災教育推進の取組

## ①防災教育の促進

- ▶ 小中学校で実施する水防災教育を支援するため、令和元年11月に沼津市内の小中学校にて出前講座を実施。台風19号の災害や過去の沼津市西部地区の豪雨災害について、小学生とその保護者に向けた講義を行った。

### 【事例】

### 小学生及び保護者を対象とした出前講座

【日 時】 令和元年11月16日（土）  
【場 所】 原東小学校（沼津市大塚）  
【参加者】 小学5年生50名、保護者約30名



【日 時】 令和元年11月14日（木）  
【場 所】 今沢小学校（沼津市東原）  
【参加者】 小学5年生44名



# (1) 地域住民の防災意識を向上させるための防災教育推進の取組

## ① 防災教育の促進

- 管内の高等学校や企業を中心に防災出前講座を実施しており、令和元年度については、全69回の出前講座を実施した。うち37回はハザードマップの見方や市町が発令する避難情報の意味の解説など風水害に関する内容を含めた形で講座を実施している。
- 防災情報をまとめた「東部防災ニュース」の中で、地震や水害、土砂災害など防災全般に関する情報について特集し、当局HPやチラシを配架することで、住民等へ発信した。

### 【事例】 高校生への出前講座、東部防災ニュース

#### ● 出前講座

【日 時】 令和元年9月6日（金）

【場 所】 沼津商業高校

【参加者】 学生584名（全校生徒）



#### ● 東部防災ニュース

【発行回数】 令和元年度版は5回発行



# (1)地域住民の防災意識を向上させるための防災教育推進の取組

## ①防災教育の促進

- 砂防施設の多い伊豆市を中心に砂防の防災教育を行っています。令和元年度に狩野川直轄砂防60年記念事業「伊豆地域とともに歩み暮らしを守る狩野川砂防」の場で防災教育の取組が紹介されました。

### 【事例】

### 砂防に関する防災教育の実施(狩野川直轄砂防60年記念事業)

#### ■防災教育の実施



飯田氏(伊豆市佐野区)  
による紹介

※伊豆市への出前講座についても  
紹介いただきました



#### <<狩野川直轄砂防60年記念事業概要>>

【日 時】 令和元年11月16日(土) 13:30~15:00

【場 所】 天城会館(静岡県伊豆市湯ヶ島176-2)

【内 容】 式辞、来賓祝辞・挨拶、事業概要説明  
記念講演、地域からの声、銘板披露



銘板披露(鹿群山(かむれやま)砂防堰堤)

# (2)地域住民の確実な避難のための取組

## ② 洪水時における情報提供の充実

➤ 実際に堤防決壊等の緊急的な事態に遭遇した場合に被害を最小限に食い止めるため、河川管理者の危機意識の保持と緊急対策技術の技術水準の維持・向上を目的とした模擬訓練を実施。

### 【事例】

### 堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの開催

【日時】 令和元年6月21日（金） 13:30～  
【場所】 沼津河川国道事務所 3階 洪水予報室  
【参加者】 沼津河川国道事務所、市町、建設業協会、  
河川工法伝承研究会等

### 堤防決壊時の緊急対策技術の向上について(PDCA)

近年、堤防決壊などの被害があった河川については、「PDCA」サイクルなどを活用するなど、堤防決壊時の復旧資料の蓄積、復旧技術の向上、シミュレーション内容の充実を図る。

#### Plan(計画:堤防決壊時の緊急対策シミュレーション)

●各河川においてシミュレーションの実施、意見交換会の実施

【事務連絡】「堤防決壊時の緊急対策シミュレーション」の実施について

#### Action

(改善:シミュレーション内容の改善)

より実践的なシミュレーション条件に改善

- 問題点・課題について共有し、改善策を議論し、シミュレーション条件を改善
- 堤防調査委員会等の結果や各種委員会結果などを参考にシミュレーション条件を改善

#### Do

(実行:実際の堤防決壊)

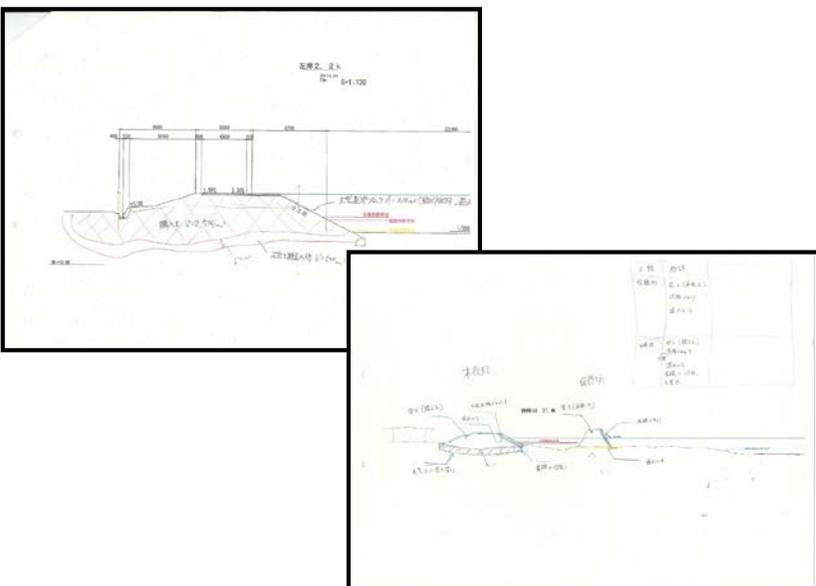
【重要】実行内容を取りまとめる

- 被災情報の情報把握
- 工法検討に要した時間・費用
- 申請に要した時間(申請・着手)
- 資機材の確保・保有状況
- 工事監督体制
- 工事進捗管理(定時報告含む)
- 復旧に要した時間
- その他対応等(記者発表など情報発信等)

#### Check(評価:問題点・課題の抽出)

- シミュレーション内容の問題点・課題の抽出(実際との比較)
- シミュレーション内容の良かった点・悪かった点を全体的・項目別に整理
- シミュレーション内容の課題・問題点を全体的・項目別に整理

【適宜、共有・議論】  
意見交換会や全国河川工事課長会議など



決壊箇所本復旧工事検討事例

## (2)地域住民の確実な避難のための取組

### ② 洪水時における情報提供の充実

- 沼津河川国道事務所、静岡河川事務所、富士砂防事務所が所有する監視カメラの画像を株式会社TOKAIケーブルネットワークへ提供する協議を締結。TOKAIの自主制作チャンネル放送を通じ、洪水被害の予防、迅速な避難等に役立つことを目的に、県内中東部の16市町、約26万世帯の地域住民に情報を提供。

#### 【事例】 大井川、安倍川、狩野川、駿河海岸、富士海岸、富士山の防災情報を提供する協議の締結式の開催

- 【日時】 令和元年8月27日(火) 10:00~10:30
- 【場所】 (株)TOKAIケーブルネットワーク 本社 1階会議室
- 【出席者】 沼津河川国道事務所 長谷部事務所長、  
(株)TOKAIケーブルネットワーク 鈴木社長、  
静岡河川事務所 川上事務所長、  
富士砂防事務所 加藤事務所長、  
(株)TOKAIケーブルネットワーク 征矢課長 等 17名
- 【内容】 開式、挨拶、概要説明、記念撮影、閉式

< TOKAIケーブルネットワークへ映像提供されるカメラ >

沼津河川国道事務所	48台
静岡河川事務所	73台
富士砂防事務所	10台
(合計)	131台



あいさつする(左から)沼津河川国道事務所長谷部所長、  
(株)TOKAIケーブルネットワーク鈴木社長、静岡河川事務所川上所長、  
富士砂防事務所加藤所長

## (2)地域住民の確実な避難のための取組

### ④ 要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の促進

- 三島市は大雨による浸水を想定し、要配慮者利用施設を対象とした「一斉避難訓練」を実施。要配慮者利用施設毎に準備されている「避難確保計画」の実効性を高めるため、三島市からの避難情報の提供をきっかけとして、市内の参加施設が同日に避難訓練。

#### 【事例】

#### 要配慮者利用施設の一斉避難訓練の実施

- 【日時】 令和元年12月19日（木）（時間：各施設で設定）
- 【場所】 三島市内における各要配慮者利用施設（参加施設）
- 【主催】 三島市
- 【内容】 大雨による浸水を想定し、三島市から伝達される避難情報等の状況を記載した用紙（状況付与）を事前に配布。参加施設は、「状況付与」をもとに、「大雨に関する情報収集」、「施設管理者等による避難準備の開始や避難の判断」、「避難場所までの移動」などの訓練を実施



NPO法人エシカファームうめな園IPPOでの避難訓練

## ⑤ 水防団(消防団)の組織強化

➤ 平成30年7月豪雨災害など近年増加する集中豪雨や台風による風水害の発生が心配される中、静岡県東部地域全体の水防技術の確認・向上、水防活動への意識の高揚、出水による洪水被害の軽減、を目的に、令和元年度 静岡県東部地域水防演習を開催。

### 【事例】 令和元年度 静岡県東部地域水防演習の開催

- 【訓練日時】 令和元年6月9日(日) 9:00~12:00
- 【訓練会場】 天城ふるさと広場(伊豆市上船原1120-1)
- 【参加者】 静岡県東部地域自治体及び消防団(沼津市、三島市、御殿場市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町、小山町)、静岡市水防団、駿東伊豆消防本部、富士山南東消防本部、静岡県警察本部、NPO法人災害救助犬静岡、陸上自衛隊第34普通科連隊、伊豆市建設業組合、伊豆市天城上船原地区自主防災組織
- 【参加人数】 約430人
- 【演習内容】 土のう拵え、改良積み土のう工、静岡市水防団講師による釜段工法の作成指導、静岡県警・駿東伊豆消防本部・伊豆市建設業組合による連携救助訓練、陸上自衛隊による訓練披露(積み土のう工)



挨拶  
(左:伊豆市長  
右:沼津河川国道事務所長)



開会式



釜段工法の作成指導



連携救助訓練



陸上自衛隊による訓練披露  
(積み土のう工)

## ⑥ 水防活動の充実

➤ 狩野川流域の水防活動を円滑に実施するため、狩野川流域の自治体及び水防団(消防団)、河川管理者等が合同で、狩野川で洪水に対しリスクが高い区間(重要水防箇所)の河川巡視を出水期前に実施。

### 【事例】 令和元年度 狩野川で水害リスクの高い箇所の合同巡視

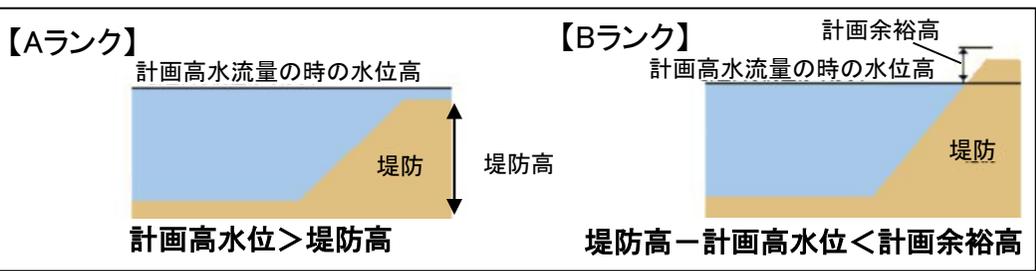
【実施日時】 令和元年5月28日(火) 13:15~16:10  
令和元年5月29日(水) 13:30~16:45

【巡視箇所】 狩野川、黄瀬川、大場川、来光川、柿沢川  
(15箇所)

【参加者】 120名  
狩野川管内市町、水防団(消防団)、  
防災エキスパート、建設業協会、  
建設コンサルタンツ協会、  
沼津河川国道事務所

●洪水が起こったとき、危険が予測され、水防活動において重点的に見回りが必要な場所のことを「重要水防箇所」という。その重要さによって「重要度A」「重要度B」に分けられる。

重要水防箇所の代表例(堤防の高さにおけるリスク基準)



狩野川右岸25.8k付近の状況(伊豆市)



狩野川右岸14.4k付近の状況(函南町)



狩野川左岸9.1k付近の状況(沼津市)

## ⑥ 水防活動の充実

- 洪水時の被害軽減を目的とした災害対策車両の操作訓練を、出水期を前に狩野川の清水町の河川敷で実施。沼津河川国道事務所の職員、狩野川管内の建設業者、市町の職員と合同で開催し、排水ポンプ車と照明車の特徴や、操作方法を確認。

【事例】

災害対策車両合同操作訓練

【日時】 令和元年5月25日

【参加者】 沼津河川国道事務所、建設業協会、市町

【内容】 排水ポンプ車、照明車の特徴、操作方法を確認



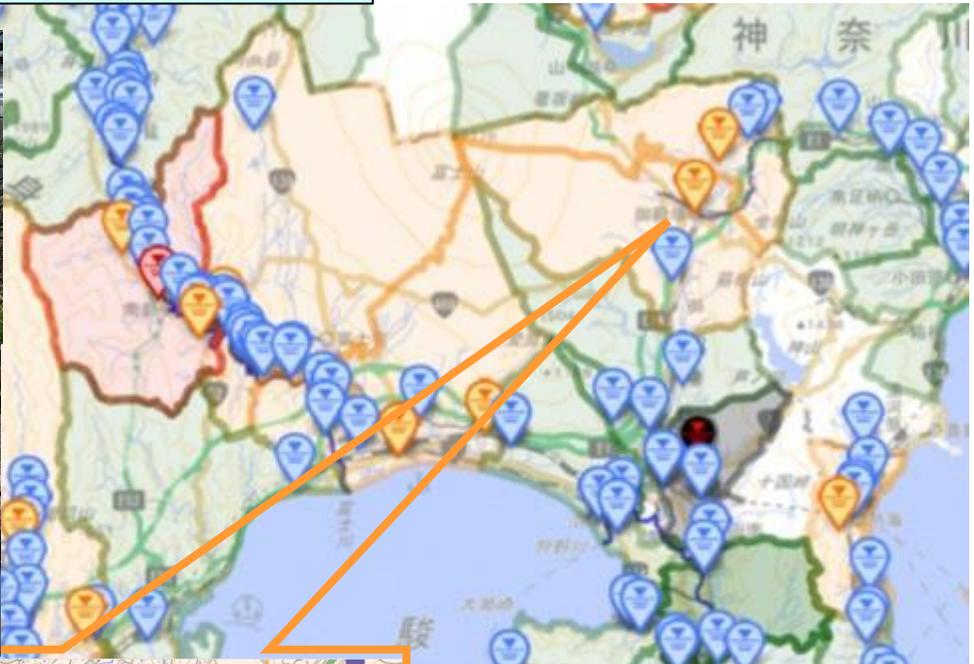
## ⑥ 水防活動の充実

➤ 水防活動に資する水位情報提供のため、管内29箇所で危機管理型水位計を設置

### 【事例】 危機管理型水位計の設置

危機管理型水位計観測所一覧

	河川名	市町	観測所
①	沼津大沢川	沼津市	大沢川橋
②	沼津江川	沼津市	沼津江川
③	観音川	沼津市	緑橋
④	浪人川	沼津市	日吉橋
⑤	泉川	裾野市	長尾橋
⑥	三島山田川	三島市	島田橋
⑦	夏梅木川	三島市	夏梅木橋
⑧	境川	三島市・清水町	境川
⑨	西川	御殿場市	西川橋
⑩	小山川	御殿場市	童橋
⑪	梅の木沢川	長泉町	宮脇橋
⑫	桃沢川	長泉町	西橋
⑬	小山佐野川	小山町	佐野川橋
⑭	須川	小山町	上須川橋
⑮	野沢川	小山町	六合橋
⑯	大川	沼津市	平戸橋
⑰	陰野川	沼津市	天澄橋
⑱	沢海川	沼津市	沢海川
⑲	西浦河内川	沼津市	吉妻橋
⑳	堂川	伊豆の国市	堂下橋
㉑	洞川	伊豆の国市	舞台下橋
㉒	深沢川	伊豆の国市	新深沢橋
㉓	山田川	伊豆市	堀切大橋
㉔	小山田川	伊豆市	小山田川
㉕	野尻川	伊豆市	野尻川
㉖	古川	伊豆市	大野橋
㉗	吉奈川	伊豆市	登橋
㉘	小土肥大川	伊豆市	寸場橋
㉙	水口川	伊豆市	水口川



## ⑦ 治水施設整備の促進

- 河川整備計画に基づき着実な河川改修事業の実施
- 堆積土砂の除去や樹木伐採などによる流下能力の確保

【事例】 河川改修事業の促進、河川流下能力の確保

沼津市大岡地区(黄瀬川)



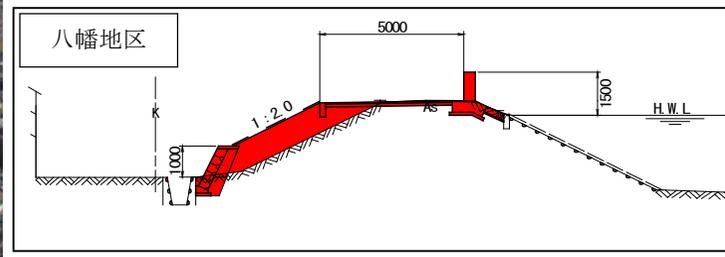
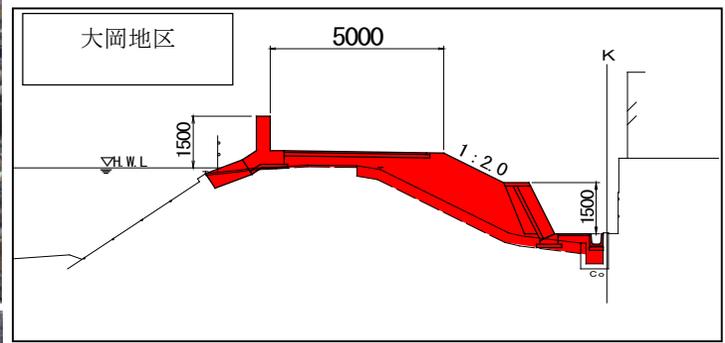
長泉町本宿地区(黄瀬川)



沼津市大岡、清水町八幡(黄瀬川)



清水町長沢地区(狩野川)



## 今後の進め方

- ① 毎年、出水期前に協議会を開催し目標達成に向けた、重点取組事項のフォローアップを実施。
- ② 幹事会を適宜開催し、統合前に策定した取組方針のフォローアップを実施。
- ③ 毎年、出水期前に本協議会の構成機関による「静岡県東部地域水防演習」を実施。（令和2年6月 消防団関係者を対象とした情報伝達訓練を実施予定）
- ④ 国土交通省が設定した目標である「2021年までに要配慮者利用施設について避難確保計画の作成率を100%」を達成し、逃げ遅れによる人的被害ゼロの実現のため、狩野川流域内自治体のニーズを踏まえ、必要な支援を実施。
- ⑤ 令和元年東日本台風の内水被害を踏まえ、「内水被害を低減させる持続可能な取組」を実施。